

授業科目名	在宅療養看護学	担当教員	平山香代子
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

### 【授業概要】

医療機関から在宅に移行し、在宅療養をしている対象者と家族介護者を理解するために求められる基礎的能力の習得をはかる。

### 【授業目的・目標】

1. 医療機関から在宅への移行期における看護を表現できる。
2. 在宅療養者への訪問看護における看護計画を討議できる。
3. 在宅療養者への看護に求められる包括的アセスメントの項目を作成できる。
4. 対象者と家族へのインタビューに必要な知識と態度を習得する。
5. 対象者と家族の心理と生活に関する理解を深める。

### 【履修条件】

在宅看護学Ⅰ、在宅看護学臨地実習を修得しているもの

### 【授業計画】

[01] 医療機関から在宅への移行期の看護	(平山)
[02] 在宅療養者の家族看護	(平山)
[03] 多問題家族のアセスメント	(平山)
[04] 在宅療養者の包括的アセスメント①	(平山)
[05] 在宅療養者の包括的アセスメント②	(平山)
[06] 在宅療養者の包括的アセスメント③	(平山)
[07] 訪問中に療養者と家族介護者から情報収集するために必要な能力	(平山)
[08] 訪問看護における援助計画	(平山)

### 【教科書】

指定なし

### 【参考書】

1. 山崎あけみ・原礼子編集（2015）家族看護学（改定第2版），南江堂。
2. 正野逸子・本田彰子編者（2014）関連図で理解する在宅看護過程，メヂカルフレンド社。

### 【評価方法・評価基準】

課題①：25% 課題②：25% 全体像①②：30% グループ発表、グループワークでの貢献度：20%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：在宅看護学Ⅰの復習

事後学習：在宅看護学臨地実習事例の思い起こし

### 【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

演習中に課題レポートが終わるようにし、授業を通して返却する。

### 【備考】

3年次の在宅看護学臨地実習での場を思い返し、自らがインタビュアーとなることを想定して授業に臨むこと